

▶穏やかな晴天のもと、新春恒例の「第12回久礼田体育会ミックス駅伝」が1月3日、JA南国市久礼田支所前を発着の5区間約17kmの周回コースで開かれ、市内外から11チーム55人が参加。白熱したレースが展開され、今年も好記録が続出。大会終了後は、同体育会の手料理で、交流会も行われました。



◀新春恒例の南国市体育初めが1月4日行われました。年頭の走り初めで新年の決意を新たにしようと、市体育協会が毎年開いているもので、中学生や市民、市職員ら約300人が参加。開会式で、浜田市長は「今年を市政信頼回復元年として頑張りたい」とあいさつ。準備体操の後、健康文化都市シンボルマーク入りのほら巻を締め、この一年の健康を願って市街地を駆け抜けました。

▶1月4日、市内各地で新年のスタートを切る行事が行われました。

この日香南清掃組合では、年末から年始にかけて止めていた焼却炉への火入れ式が行われ、職員や周辺の市民らが見守る中、地域代表の門田理博さん、浜田市長の手で点火スイッチが押され、この一年の作業の安全を祈りました。



◀「七草」前の1月6日、国分寺で新春恒例の「若菜摘み俳句会」（国府梵鐘句会主催）が開かれ、市内外の俳句愛好者ら約80人が参加しました。参加者は、国分川畔いや紀貫之馬跡などを散策。俳句を作りながら春の七草を摘み、境内で七草がゆにして新春の味を楽しみました。この後、発表会を囲きお互いの作品を批評しながら、親睦を深めました。



◀「今、日本政治経済をどう読むか」と題しての、新春特別講演会（市商工会主催）が1月8日、商工会館で開かれました。NHK解説委員前田一郎さんが1996年の政治・経済の展望などについて、分かりやすく解説した講演に、参加者らはメモを取るなど、熱心に聞き入っていました。

▶12月18日、世界相撲選手権米子チーム監督のジョン・ジャクスさんが、長岡小学校相撲部を訪問しました。

ジャクスさんは同17日に東京で開かれた世界相撲選手権のため来日していたもので、子供たちのけいこを写真に収めるなど、熱心に見学。昨年夏まで同校でコーチを勤めていた岡林成彦さん（ハワイ在住）と、オアフ相撲協会会長のジャクスさんが知りあったことがきっかけで、今回の訪問が実現しました。



◀福島の岩村遺跡群の縦穴式住居あとから、県内では初めて弥生後期の吉備（現在の岡山県）製の鉢の一部が発掘されました。周辺が市場整備工事の予定地区になっているため、多数の遺跡が散在している同地区を、市教育委員会が県埋蔵文化財センターの協力を得て発掘調査していたもの。

県内で吉備土器が出土したのは今回で4件目ですが、これまではいずれも甕（かめ）で、鉢は初めて。吉備土器は、非常に薄く、技術的に優れた作りのものだから、西日本各地で出土しているとのこと。「今後、土佐と吉備の関係を明らかにする手がかりとなるのでは」と関係者は期待を寄せています。



▶12月21日、高知自動車道の工事を担当する株式会社・開フジタ共同企業体が、地元の子供たちにクリスマスプレゼントをしました。

同企業体は日ごろ工事にあたって、トラックが頻りに往復することからこのプレゼントを企画。プレゼントされたのは同豊町小選手会の子供たち30人。この日は代表の和田まり子さん、池田佳恵さんが、事務所前に立てられた約7mのクリスマスツリーの前でボールペンセットなどを受け取りました。



◀12月22日、老人保健施設「夢の里」は、ひと足早いクリスマス会を開き、お年寄りらは、ボランティア「ピンの会」の朗読と合唱、山田高校吹奏楽部によるクリスマスソングのメドレーを堪能した後、参加者全員による合唱など、楽しい一日を過ごしました。



▼青少年を取り巻く環境を良好なものにしようと、1月17日、市指導委員会、少年育成センター職員らが中心となり、後免町、大塚周辺で違法広告物の一斉撤去を行いました。

